事務事業ID 0582

平成 **22** 年度 **事務事業マネジメントシート** <sub>平成 22 年 4 月 16 日作成</sub>

<u> </u>	0002							13X 2		•	,, ,	• п	1 177
	事務事業名	大船渡魚市場維持管理	□ 実施計画登載事業			□ 合併建設計画登載事業							
	政策名				事業期間			予算科目					
政	以來台							会計	款	項	目	事業	
策体	施策名 ・・・・・・地域活力を担う水産業の振興				単年度のみ								
系	基本事業名	UiZi				単年度繰返 (開始 昭和39	年度	夏~)					
	根拠法令							J	12	01	01	01	03
戶層	部課名	農林水産部 水産課				期間限定複数年度							
						【計画期間】							
	係 名	漁政係	電話	27-3111	4	年度 ~		年度					
	担当者		内線   335				量を記入						
	務事業の概要				全体記	一	期間限	定複数	年度の	み)			
		魚市場と細浦魚市場の					国庫	支出支	<u>&gt;</u>				
		)委託、土地(県有地)占	用等	である。	総	則	±7:∺ n	有県支出:					
<b>#</b>	『業費は、光熱水			投	<b>+</b>   ///	坩	拉方債						
							λ	業内費訴	7	の他			
							量	貸前		般財源	į		
						=		事業費計(A)		)		0	
							$\overline{}$	J I	規職員従事人数		数		
							(千円	件	延べ業務時間				
							)	費		人件費計 (B)			0
								トーク	7ルコス	├(A) + (	B)		0
1	租状押据の部	. (   1( ) )											

								トータ	ルコスト(A) + (B)	0	
1 現状把握の部(DO)											
(1) 事務事業の目的と指標											
手段(主な活動)							活動指標	 長す指標)			
前年度実績(前年度に行った主な活動)								単位			
光熱水費、占用料等の経常経費は、請求書に基づいて支出事務を行う。保守管理に ついては、仕様書により見積書を徴収し契約を締結する。また、施設修繕については、						ア	施設修繕筐	箇所			
内容に応じ設計や見積り、契約等 今年度計画(今年度に計画し					7	1	保守管理委	託契約件数		件	
ほぼ前年度と同様であるが、新	市場整	を備を控えてお	り、修繕等は圧縮	する予定である。		ウ					
					対象指標						
対象(誰、何を対象にして	いるの	)か)*人や[	自然資源等					単位			
·大船渡魚市場 ·細浦魚市場					4	カ	大船渡魚市	船渡魚市場施設面積			
・魚市場利用者 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 施設を維持管理することで、魚市場業務が円滑に実施できるようにする。						+	細浦魚市場	能設面積	 设面積		
						ク					
							成果指標	対象における意図の通	成度を表す指標)		
					4			名称			
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 安定して高く売れる。						サ	施設設備の不具合件数			件	
						シ	修繕等要望		%		
					$  \  $	ス					
(2) 総事業費・指標等の推移					. Y						
,		年度単位	17年度 (実績)	18年度 (実績)	19	9年	度 (実績)	20年度 (実績)	21年度 (実績)	22年度 (目標)	
		千円									
財 都道府県支出金		千 円									
<sub>                                    </sub>		千円	44.075				0.544		= 001	0.500	
表して ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		千円 千円	11,275	7,174			6,511	9,331	7,934	8,500	
一般知源   事業費計 (A)   人  正規職員従事人数		千円	11,275	7.174			6.511	9,331	7,934	8,500	
		人	2	2			2	2	2	2	
件延べ業務時間		時 間	400	400			400	400	400	400	
費 人件費計 (B)		千 円	1,600	1,600			1,600	1,600	1,600	1,600	
トータルコスト(A) + (B)		千円	12,875	8,774			8,111	10,931	9,534	10,100	
	ア	箇所	6	5			3	7	5	5	
活動指標	1	件	6	7			7	7	7	7	
	ウ	2									
) I &	カ	m²	8,392.72	8,392.72			8,392.72	8,392.72		16,739.60	
対象指標	+	m²	1,716.20	1,716.20			1,716.20	1,716.20	1,716.20	1,716.20	
	ク										
	サ	件	6	5			4	7	5	2	
成果指標	シス	%	100	100			75	100	100	100	
	- \			1/3 -					(大船	<u> </u>	

## (3) 事務事業の環境変化 住民意見等

公設市場を開設したことによる(大船渡魚市場:昭和39年、細浦魚市場:平成5年)

事務事業を取り巻〈状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか? 細浦魚市場は平成11年に経営統合し、大船渡魚市場のサブ市場として使用している。また、経営統合に当たり、使用料率と維持管理費の負担区分の見直し を行っている。

この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。

2	評価の部(SEE)*原則は事後評	価、ただし複数年度事業は途中評価
目的妥当性評価	政策体系との整合性	<ul><li>見直し余地がある 【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>✓ 結びついている 【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li></ul>
	この事務事業の目的は当市の政策体 系に結びつくか?意図することが結 果に結びついているか?	魚市場は水産業振興の中核となる施設であり、その円滑な運営は当市の産業振興に大きな役割を果たすものである。
	公共関与の妥当性	□ 見直し余地がある 【理由】 3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映 □ 妥当である 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映
	成する目的か?	公設市場であり、安心安全な水産物の安定供給は、漁業、水産加工業等の振興はもとより、豊かな生活の実現に大きな役割を果たすものである。
	対象・意図の妥当性	<ul> <li>見直し余地がある 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li> <li>■ 適切である 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li> <li>■ 施設の維持管理経費であり、可能な限りコストダウンを図りながら実施している。</li> </ul>
	対象を限定・追加すべきか?意図を 限定・拡充すべきか?	が では、
有効性評価 効率性評価	成果の向上余地	<ul><li>□ 向上余地がある 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>□ 向上余地がない 【理由】 3</li></ul>
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	円滑な運営のための経常経費であり、成果を向上させる余地はない
	廃止·休止の成果への影響	<ul><li>影響無 【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>▼ 影響有 【その内容】 → 4 大場の円滑り (3枚目シート)</li></ul>
	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	魚市場の円滑な運営が行われない。
	類似事業との統廃合・連携の 可能性	─ 他に手段がある (具体的な手段,事務事業)
	目的を達成するには,この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	□ 統廃合・連携ができる 【理由】 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 □ 統廃合・連携ができない 【理由】 ○ 公有財産の維持管理であり、他に方法はない。
	<b>主</b> 业中。2013年人山	<ul><li>✓ 他に手段がない 【理由】</li><li>✓ 削減余地がある 【理由】</li><li>○ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li></ul>
	事業費の削減余地	▼ 削減余地がない 【理由】 5 経常経費であり、削減の余地はない。
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削 減余地	<ul><li>□ 削減余地がある 【理由】 つ 3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li><li>□ 削減余地がない 【理由】 つ</li></ul>
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより 正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	卸売業者が行う以外の維持管理を行っているものであり、削減あるいは委託等はできない。
公平	受益機会·費用負担の適正 化余地	□ 見直し余地がある 【理由】 つ 3 改革·改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☑ 公平·公正である 【理由】 つ
平性評価	事業の内容が一部の受益者に偏って いて不公平ではないか?受益者負担	事業に要する費用は、主に魚市場施設使用料であり、受益者が負担しているものである。 事業に要する費用は、主に魚市場施設使用料であり、受益者が負担しているものである。

- 2/3 -

事務事業ID 0582 事務事業名 大船渡魚市場維持管理事業	
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)	
(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること) (2) 全体総括(振り返り、反省点) ・修繕は必要最小限にとどめた。	
□ 目的妥当性 □ 図 適切 □ 見直 b余地あり □ 日本 □ 日本 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
有効性 適切 「見直し余地あり」	
□ 効率性 □ 適切 □ 見直し余地あり □ □ 見直し余地あり □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	
公平性 適切 □ 見直し余地あり □	
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) (4) 改革・改善による期待成果	
左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待で   廃止   休止   目的再設定   事業統合・連携   現状維持   きる成果について該当欄に「」を記入する。	
事業のやり方改善( 同 有効性改善 同 効率性改善 回 公平性改善) (廃止・休止の場合は記入不要)	
(上記方向性に対する具体的な内容) コスト 現時点では現状維持であるが、新大船渡魚市場の整備と併せて費用負担や細浦魚市場の用途変更等につ 削減 維持 増加	
いて検討する必要がある。	
果	
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	
・新魚市場における光熱水費の負担は卸売業者との協議検討が必要である。 ・新魚市場完成後の細浦魚市場の用途について、関係者との協議検討が必要である。	
(職名) 原則として施策の主管課長 (氏名)	_
4 事務事業の2次評価結果 2次評価者 農林水産部水産課長	_
(1) 1次評価結果の客観性と出来具合	
記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)   記述不足でわかりにくい	
<ul><li>一一部記述不足のところがある</li><li>✓ 記述は十分なされている</li></ul>	
評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)	
▽ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない)	
<ul><li>一一部に客観性を欠いたところがある</li><li>✓ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)</li></ul>	
(2) 2次評価者としての評価結果 (3) 評価結果の根拠と理由	
新魚市場を建設中であり、現魚市場の修繕は必要最低限としており、現 目的妥当性 適切 「見直し余地あり」 維持とする。	狀
有効性	
	_
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) (5) 改革・改善による期待成果	
廃止   休止   目的再設定   事業統合・連携   現状維持   場合には、1次評価の結果も「」」で記入する。また、1次評価の結果も「」で記入する。また、1次評価の結果も「」で記入する。また、1次評価の結果も「」で記入する。また、1次評価の結果も「」で記入する。また、1次評価の結果も「」で記入する。また、1次評価の結果も「」で記入する。また、1次評価の結果も「」で記入する。また、1次評価の結果も「」で記入する。また、1次評価の結果も「」で記入する。また、1次評価の結果も「」で記入する。また、1次評価の結果も「」で記入する。また、1次評価の結果も「」で記入する。また、1次評価と内容が異な	
事業のやり方改善 ( 同有効性改善	
現状どおり継続して事業を実施する。	
成機大	
(1) 行政経営推進会議等での指摘事項	

- 3/3 -